

■ どうでも良いことだが、本日 3 月 14 日は「数学の日」であり、「円周率の日」でもある。以下は、これとは無関係。

■ 2019 年名古屋大学の理系、第 3 問。

正の整数 n の正の平方根 \sqrt{n} は整数ではなく、それを 10 進法で表すと、小数第 1 位は 0 であり、第 2 位は 0 以外の数であると

- (1) このような n の中で最小のものを求めよ。
(2) このような n を小さいものから順に並べたときに 10 番目にくるものを求めよ。

■ 「その正の平方根が整数ではなく、それを 10 進法で表すと、小数第 1 位は 0 であり、第 2 位は 0 以外の数であるような正の整数」という条件を P とする。

■ 問題の内容を理解するために、少し調べてみよう。試験では電卓は使えないが、ここでは電卓を少し使って調べる。

条件 P を満たす数は、正の整数 m に対して、 $\sqrt{m^2}$ より少し大きい数であるから、例えば $\sqrt{m^2+1}$ のような数である可能性がある。

しかし、m=1, 2, 3 に対する $\sqrt{m^2+1}$ の値はそれぞれ、 $\sqrt{2}=1.414...$ 、 $\sqrt{5}=2.236...$ 、 $\sqrt{10}=3.162...$ であるから、これらは条件を満たさない。もう少し大きい m である必要がある。さらに計算してみると、 $\sqrt{4^2+1}=4.123...$ 、 $\sqrt{5^2+1}=5.099...$ であり、結果的に $5^2+1=26$ が (1) の答えになっている。

■ さて、ここでさらに考えるべきことが幾つかある。

- (i) $\sqrt{m^2+k}$ の形の数で、 $2 \leq k \leq (m+1)^2 - m^2 - 1 = 2m$ のものも考える必要がある。このとき、1 つの m に対して、複数の k の値で条件 P を満たす数があり得る。
(ii) m が一定大きくなると、 $\sqrt{m^2+1}$ が条件 P を満たさなくなる。

これらのことは、次の表を見れば諒解できる。表は、青を m、緑を k とする $\sqrt{m^2+k}$ の値 (小数は切り捨て表示している) であり、赤のセルが条件 P を満たす数である。

Table with 12 columns (m) and 60 rows (k). Cells contain values of sqrt(m^2+k) truncated to 3 decimal places. Red cells indicate values where the first two decimal places are 0.

- (i) は m=10 以上で起きている*)。
(ii) は m=50 以上で起こる**)。このことは、 $\sqrt{m^2+k}$ でも次々起こることである。

■ 以上を踏まえてこの問題は解かれる必要がある。解答を作ってみよう。

整数部分が m (≥1) で条件 P を満たす数は、 $\sqrt{m^2+k}$ の形の数であり、自然数 k は $1 \leq k \leq (m+1)^2 - m^2 - 1 = 2m$ を満たす必要がある。

この数が条件 P を満たすから
m + 0.01 ≤ sqrt(m^2+k) < m + 0.1 を満たし、各辺が正だから
(m + 0.01)^2 ≤ m^2+k < (m + 0.1)^2 より、
0.02m + 0.0001 ≤ k < 0.2m + 0.01 ...①
である。

したがって、整数部分が m (≥1) であって条件 P を満たす数の個数を d(m) とすれば、①より

d(m) = [0.2m + 0.01] - [0.02m + 0.0001] であるが、m が自然数であることを考慮すれば、

d(m) = [0.2m] - [0.02m] ...②
とできる。ここに、[] はガウス記号である。
1 ≤ m ≤ 4 において d(m) = 0,
5 ≤ m ≤ 9 において d(m) = 1,
10 ≤ m ≤ 14 において [0.02m] = 0 で d(m) = 2 であるから

- (1) は m=5, k=1 の場合であり、求める n = 5^2 + 1 = 26。
(2) は sum_{m=5}^9 d(m) = 5, sum_{m=10}^11 d(m) = 4 から m=12, k=1 の場合であり、求める n = 12^2 + 1 = 145。

■ *)は②式によって、m の値から定まっていく。
m=10 のとき、d(10) = [2] - [0.2] = 2 である。
m=50 のとき、d(10) = [10] - [1] = 9 となって、表と合っている。
**)は、[0.02m] ≥ 1 の場合に起こり、このようなことが起こる最小の m は、0.02m = 1 から m = 50 である。

■ 左の表で赤い部分の右側の階段の高さが 5 ずつである。これは、[0.2m] の値の変化に対応している。
同様に、左側は [0.02m] の値の変化に対応して、50 ずつの高さで削られていく。